

以下は、メンブランフィルター法、混釈法、および塗抹法による製品の水和および使用のための推奨プロトコールです。このプロトコールは、50~200 CFU / 1ml（メンブランフィルター法、混釈法、塗抹法）もしくは0.1ml（塗抹法）の接種濃度を使用しますが、研究室のSOPに応じて他の接種濃度を使用することができます。湿った培地に接種すると、コロニーが凝集したり広がったりすることがあります。最良の結果を得るには、接種前に培地を乾燥させてください。開始するには、まずペレットを水和させます。

1

冷蔵保管庫から凍結乾燥ペレットを含むホルボーチを1つ取り出します。未開封のホルボーチを室温に平衡化させます（約30分）。



2

再水和のために滅菌水10mlもしくは1mlを準備します。



3

ホルボーチを引裂き、凍結乾燥ペレットを含むバイアルを取り出します。



4

ペレットバイアルからキャップを取り外します。ペレットを10mlもしくは1mlの滅菌水に入れます。R2A培地で1mlもしくは0.1mlあたり50-200 CFUのチャレンジ濃度を得るには、ペレットを1つだけ使用してください。滅菌水の蓋はすぐにしめてください。



5


ペレットが完全に溶解し懸濁液が均一になるまで、水和物をボルテックスします。



メンブランフィルター法

6

メンブランフィルターの場合は、ステップ④で10mlに溶解してください。滅菌ピペットを使用して、ステップ⑤の水和懸濁液から1mlを滅菌水100 mlに移します。混合します。



7

プロトコールに従ってメンブランフィルター法を実行します。



8

フィルターをR2A寒天プレートに移し、SOPに従って培養します。R2A培地で50-200CFUを復元します。



混釈法


6

混釈法の場合は、ステップ④で10mlに溶解してください。滅菌済みのピペットを使用して、水和懸濁液から空のペトリ皿の底に1mlを移します。



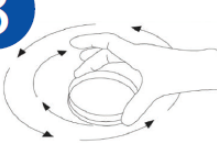
7

SOPに従って、12~20 mlの溶融寒天を接種材料に注ぎます。



8

交互に回転させてペトリ皿を静かに旋回させることにより、寒天全体で微生物を完全に混合します。



9

寒天が固まったら、プレートをはっきり返して培養します。R2A培地で50-200 CFUを復元します。



塗抹法

6

滅菌済みのピペットを使用して、0.1mlもしくは1.0 mlの水和懸濁液をR2A培地に移します。懸濁液を均等に広げてインキュベートします。R2A培地で50-200 CFUを復元します。



ATCC Licensed Derivative®

*Look for the ATCC Licensed Derivative® Emblem for all products derived from ATCC® cultures. The ATCC Licensed Derivative Emblem, the ATCC Licenses Derivative Word Mark, and the ATCC Catalog Marks are trademarks of ATCC, Microbiology, Inc. is licensed to use these trademarks and to sell products derived from ATCC® cultures.

Contact us to learn more
320.253.1640
800.599.BUGS(2847)
microbiologics.com

Microbiologics®
A safer, healthier world.